

教員名：川村 幸夫	教員所属学科：非常勤講師
科目名：Listening & Writing II / 英語 II	
<p>評価平均点が4.0で、ほぼ予想通りの結果でした。「わかりやすくとてもよかった」という意見がありましたが、「スクリーンでなく黒板で説明を」という意見もありました。スクリーンの方が見やすいと思っていましたが、臨機応変にスクリーンと黒板とを使い分ける工夫も必要かと考えています。「予習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」の項目の数値が2.3と低かったことが予想外でした。予習・復習を促す手段を講じる必要があると感じています。</p>	

教員名：川村 幸夫	教員所属学科：非常勤講師
科目名：アメリカの文化	
<p>評価平均点が4.3で、ほぼ予想通りの結果でした。自由記述では、「よい」や「わかりやすい」が大多数を占めていた一方で、「難しかった」という意見もありました。なるべくわかりやすい授業を心がけたつもりでしたが、改善を検討してみます。教室の関係で「スクリーンが見づらい」との意見もありましたが、物理的に難しいと思います。一部の心ない受講生のために「教室がうるさかった」との意見もありました。途中で注意をすることにより授業が中断するのを避けたいために、また、受講生のモラル意識と自覚に任せる意図があり、あえて注意をしませんでした。今後は厳しく注意をしていくことにします。</p>	

教員名：田辺 江美子	教員所属学科：非常勤講師
科目名：法学概論	
<p>この科目のアンケート結果は、すべての設問について全学平均とほぼ等しい評価となりました。設問6（予習や復習にどの程度の時間をかけましたか）についても、全学平均とほぼ同じ2.4であり、時間にすると週に30分以下となります。この評価は、昨年もほぼ同様であったため、もう少し予習復習に取り組んでほしいとの観点から、授業外での課題をいくつか取り入れたのですが、その成果はアンケートではみることができませんでした。そこで、次年度においては、課題として提出するのみではなく、小テストを実施する等して、予習および復習に取り組んでもらいたいと考えています。</p> <p>自由記述欄の回答は、二つのみであり、「特になし」と「とてもよかった」でした。履修数が30名のクラスサイズを考慮すると、少しさびしい結果です。授業に対する否定的な記述であれ、肯定的な記述であれ、学生のみなさんの生の声をお聞きしたかったと思います。そこで次年度は、無記名による授業評価アンケートを授業内に実施し、さらに忌憚のないご意見をいただこうと考えています。</p>	

教員名： 吉田一康	教員所属学科： 非常勤講師
科目名： 企業と法Ⅱ	
<p>全般的に、平均値の高い評価をして頂き、受講者の皆様に感謝致します。特に設問 10「授業を通して多くの知識を得ることができた」が 4.6 の評価で、多少とも私の講義から有意義な知識が得られたのであれば光栄です。</p> <p>また、設問 15「授業の開始・終了時間は守られていた」も 4.6 の評価でしたが、その一方で、設問 18「教員の授業に対する熱意を感じた」が 4.4 の評価でしたので、暑がりです特に夏場の講義では汗をかいているのですが、今後はもっと熱意を前面に出していかなければならないと感じました。</p> <p>設問 6「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習はどの程度時間をかけましたか」の回答が 2.9 だった点については、講義内で、次週のテーマの紹介や課題などを与えて、予習や復習を習慣づける工夫が必要と考えました。</p> <p>学生の受講態度については、遅刻者と居眠りがややみられますが、講義中は、毎回、驚くほど静かで真面目なもので、いつも感心しておりました。</p>	